

令和5年度学校評価自己評価結果(自己評価は、ABCの3段階で実施)

水俣市立水東小学校

重点	具体的実践事項	指標	指標の結果	職員自己評価	アンケート(平均)		自己評価	取組状況 (○成果 ●課題)	改善策	自己評価の妥当性	ご意見等
					児童	保護者					
1 豊かな心の育成	「愛の123運動」+1の実施	○i-check「先生に褒められたことがある」で肯定的な回答の児童【95%以上】 ○心のアンケート「いじめられたことがある」で該当の児童【5%以下】	○	4.0	3.61	3.47	B	①昨年度の課題であった「きりりカード」の取組は、帰りの会等で書く時間を設定したことなどにより、学級差は解消された。 ②人権宣言「絶対いじめのない水東小にするために」を全校児童で話し合って決め、2学期の人権集会で振り返りと今後の取組について話し合った。 ③特別支援教育については、専門機関への相談が遅かったため、取り組む期間が短かった。 ④保護者に対して、道徳科や人権学習の授業公開だけでなく、児童の感想を紹介するなどの啓発が不十分だった。	⑥早目に校内で情報を共有し、その手立てについて協議をする場を設け、早めに専門機関に相談をすることができるようにする。 ④人権月間に啓発についても計画を立て、計画的に実施できるようにする。	妥当 5人	・改善策を実行して貰って良かったと思います。 ・早目の対応を。 ・特別支援教育については、他機関も巻き込んで、重層的な支援ができるといいですね。 ・人権教育は、身近な人同士リスペクトし合うことが大事かと思えます。
	各種アンケート、教育相談の実施		○97.6								
	SSW・SC等の活用		○0.0								
	UDの視点による授業の実施	×	3.2								
	専門機関等との連携による個別指導	職員の教育反省の評価【平均3.3以上】	3.2								
	「熊本の心」等を活用した授業展開	○i-check「自分には良いところがある」で肯定的な回答の児童【75%以上】 ○心のアンケート「だれかの役に立っている」で肯定的な回答の児童【85%以上】	○80.0 86.4	3.2							
学習内容等の保護者や地域への啓発	児童アンケートで肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】	○97.4	3.5								
2 確かな学力の育成	単元のゴールの姿をイメージした学習計画の立案	心のアンケート「授業がよく分かる」で肯定的な回答の児童【95%以上】	○	4.0	3.38	3.49	A	⑤県学力・学習状況調査では、ほとんどの学年において、正答率が県平均を上回ることができた。 ⑥2月に行った市教育委員会指定学力向上研究推進校の発表に向け、職員の授業力アップを図るとともに、補充の時間「水東タイム」や家庭での自主学習の取組を通して基礎学力の充実を図り、一定の成果を得ることができた。 ⑦読書活動の推進については、読んでいる児童と読まない児童があり、個人差が大きくなった。	⑦一日の日課を見直し、読書の時間を確保するとともに、読書活動推進員と連携して、学年の実態に応じた読書活動ができるようにする。	妥当 5人	・継続して指導の充実を。 ・朝の授業が始まる前に10分間でも読書の時間があるといいと思います。
	一人一人の学びの保障		○95.5								
	ICT機器を活用した授業づくり		○								
	ノートコンクールの確実な実施		○								
	「水東タイム」の活用による個に応じた指導	職員の教育反省の評価【平均3.5以上】	○3.8	3.8							
	県学力・学習状況調査等の問題活用	○	3.6								
	本に親しむ環境づくり	児童の読書に関する肯定的な評価【80%以上】		○89.2							
	「本かりデー」の確実な実施	i-check「計画を立てて勉強をしている」で肯定的な回答の児童【80%以上】	○95.8	3.6							
「自主的な学習」の習慣化に向けた取組											
家庭学習の定着化を目指した取組											

重点	具体的実践事項	指 標	指標の結果	職員自己評価	アンケート(平均)		自己評価	取組状況 (○成果 ●課題)	改善策	自己評価の妥当性	ご意見等
					児童	保護者					
3 健康な身体 の育成	運動量の確保、めあて学習の充実 新体力テスト結果の活用	職員の教育反省の評価の平均【3.3以上】	○ 3.4	3.4	3.55	3.45	B	⑧新体力テストの結果の課題であった運動を授業の一部に取り入れ、体力向上に努めた。 ⑨学期初めの身体測定時に生活リズムや風邪の予防などの保健指導を行った。 ⑩外遊びを好む児童は多いが、個人差があり、学校全体での取組が必要である。 ⑪家庭へう歯の処置を働きかけたが、100%には至らなかった。	⑩全校体育の実施など、全員が運動をする時間を設定する。 ⑪治療を進めるだけではなく、歯の健康についての啓発資料を配付する。	妥当 3人 要修正 A→2人	・皆が参加できる体力づくりの方策を。 ・う歯の処置は、家庭の問題が大きいのでAでいいと思います。 ・う歯の問題は、健康面だけでなく、ネグレクトの観点でもあるので、見守りが必要ですね。
	全校体育の実施と外遊びの励行	児童の運動に関する肯定的な評価【90%以上】	○ 94.4	3.2							
	疾病治療に関する日常的な保健指導	う歯の処置完了率【100%】	× 86.0	3.3							
	日常的な安全指導の徹底										
	給食と教科等を関連させた活動の充実 家庭との連携・啓発活動の充実	i-check「毎日朝食を食べている」で肯定的な回答の児童【95%以上】	○ 97.2	4.0							
	早寝、早起きの取組	児童アンケート「決まった時刻に寝ている」で肯定的な回答の児童【80%以上】	○ 89.1	3.7							
	働4 の五者 推進 連携・協	学校運営協議会「水東っ子育成協議会」の推進	保護者の連携・協働に関する肯定的な評価【85%以上】	○ 92.9							
保護者・地域の方と連携した学習活動の推進											
積極的な情報公開(学校ホームページ等)											
5 環境教育 の推進	校内や学級内掲示の工夫	計画に沿った栽培活動の実施率【90%以上】	○ 100	3.7	3.68	A	⑭SDGsと関連させた栽培活動を実施できた。 ⑮学校全体の掲示物を見直し、改善することができた。 ⑯学校版環境ISOは、児童主体の活動になるよう場の設定を工夫する必要がある。	⑰委員会活動の内容を見直し、学校版環境ISOとSDGsを関連付けた取組を設定する。	妥当 5人	・ISOの理念を水俣らしさにつなげた取組を	
	計画的な栽培活動、地域との連携										
	定期的な安全点検の実施と事後措置の確認	計画に沿った安全点検の実施率【100%】	○ 100	4.0							
	備品等の整備・整理、校舎内外の整備										
計画的な避難訓練等の確実な実施	計画的に沿った避難訓練の実施率【100%】	○ 100	4.0								
進6 働き方改革・生き方改革の推	心身の健康への配慮	在校等時間が月45時間を超えない職員の割合【80%以上】	× 57.8	3.1		C	⑰ボトムアップ研修の実施により、職員の意識は高まったものの、在校等時間の縮減にはあまりつながらなかった。	⑱より効率的に業務を進められるよう、計画から実施までの流れを見直す。	妥当 2人 要修正 B→3人	・時間の評価だけでなく、やりがいや満足度の評価を取り入れる。 ・厳しく自己評価されているものとも思います。できないこともあると思いますので、もう少し良い評価でもよいと思います。	
	業務の精選・効率化										
	学校外への啓発										